

プラスチックから、環境にやさしい素材へ

SDGsラジオを聴いてみよう！

みなさんは、ホテルに泊まったことはありますか？

ホテルの部屋には、歯ブラシやヘアブラシ、ペットボトルの飲み物などが用意されていますよね。

では、このペットボトルは何からできているか、知っていますか？そう、プラスチックですよ。

軽くて丈夫で、とても便利なプラスチックですが、ゴミになると海を汚してしまうなど、いろんな問題があります。

そこでJR西日本のグループ会社で、ホテルの運営を行っている「ジェイアール西日本ホテル開発」では、

ペットボトルの容器を紙パックに変えました。さらに、ホテル内のレストランで使うストローの素材を、石油からできたプラスチックから、植物からできたプラスチックに変更しました。

なんと、JR西日本グループのホテルのレストランの使用済みのサラダ油などからできているんですよ。

みなさんの周りにも、地球にやさしい素材から生まれたものがあると思います。

調べてみましょう。

SDGsラジオの内容を、もっと詳しく知ろう！



画像参照：ホテルで提供しているプラスチック使用製品（JR西日本公式HPより）



画像参照：紙パック製包材の飲料水（JR西日本公式HPより）

今やプラスチック製品は、私たちの生活に欠かせない存在です。一方で、プラスチックを作る時や処分する際に出る二酸化炭素は地球温暖化の原因になり、また、ゴミになると海を汚してしまうなどの多くの問題があります。そこで、JR西日本のグループ会社でホテルの運営を行っている「ジェイアール西日本ホテル開発」は、プラスチックの使用量を減らすためのさまざまな取り組みを行っています。歯ブラシやクシなど、ホテルが提供している特定プラスチック使用製品を中心に、環境に配慮した素材のものを導入しています。また、ホテルの客室に置いてあるペットボトルの飲料水を紙パックのものに変えるなど、プラスチックの使用量を減らすために積極的に取り組んでいます。

ほかにもホテル内のレストランで使うストローの素材を石油からできたプラスチックから、使用済みのサラダ油などでつくられた地球にやさしいプラスチックに変更しました。このストローは、自然に還る「生分解性」を持ちながら、一般的なプラスチック製のものとはほとんど変わらない使用感を実現しています。「ジェイアール西日本ホテル開発」ではこれからも、環境に配慮したさまざまな取り組みを通じて、地球にも人にも、よりやさしいホテルをつくっていきます。

キーワード

地球温暖化

大気中の二酸化炭素の濃度が増加して温室効果が高まり、地球の平均気温が上昇していく現象のことです。

特定プラスチック使用製品

ホテルなどで用意されている歯ブラシ、クシなどのアメニティグッズやスプーン・フォークをはじめ、無料で提供されるプラスチック製品のことで。

生分解性

微生物の働きにより分解され、「最終的に二酸化炭素と水になって自然へ還る性質」があることをいいます。

対象ゴール



みなさんにできること！

地球の未来のために、プラスチック製品をなるべく使わないようにしましょう。

- プラスチックは地球温暖化の原因になったり、海を汚したり、地球にさまざまな悪影響を及ぼす。
- JR西日本グループのホテルでは、プラスチックの使用量を減らすために積極的に取り組んでいる。
- ジェイアール西日本ホテル開発では、使用済み油からつくられたストローをホテル内のレストランで提供している。

メモ



SDGs ラジオ